

2019年12月3日

各位

会社名 インスペック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史  
(コード番号：6656 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理部長 富岡 喜榮子  
TEL 0187-54-1888 (代表)

## 新事業の開始に関するお知らせ

当社は、世界初となる長尺 FPC（フレキシブル基板）をシームレスに連続露光可能なロール to ロール型シームレスレーザー直描露光機（R-LDI）（※1）の開発を進めてまいりましたが、この度、基本機能の開発が完了したことにより R-LDI の開発・製造・販売を新たな事業として取り組むことを2019年12月3日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 新たな事業の概要

現在、自動車のCASE（※2）への取り組みは加速度的に進歩を続けており、自動車メーカー各社は自動車の内部配線（ワイヤーハーネス）の急速な増加に伴い高品質で軽量の FPC の採用に取り組んでおります。このような状況の中、ワイヤーハーネスは乗用車でも長さ6メートル超の配線が必要と言われており、長尺の FPC をシームレスに露光が可能な露光機へのニーズが高まっております。

当社は、このニーズに対応した露光機を開発するべく、検査装置事業で培ってきたロール to ロール方式の精密搬送システムと、プリント基板用の直描露光機を製造販売している子会社（スイス First EIE 社）の技術をベースとし、秋田県産業技術センターとの共同研究のもと、経済産業省 2018 年度戦略的基盤技術高度化支援事業（通称：サポイン）の補助制度を活用して、ロール to ロール型シームレスレーザー直描露光機の開発を進めてまいりました。

長尺 FPC は、レイアウトの自由度の高さや配線としての信頼性の高さ、軽量性、個別製品単位の ID 表記など多くの特徴を持ち、自動車分野のみならず、航空機、宇宙産業、ドローン、ウェアラブル機器、各種ロボット、医療機器など多くの分野で利用が拡大していくものと思われまます。

今後は、本製品の受注を2020年2月から開始し、来期以降に出荷を開始する予定です。当社は、これら新たなニーズに柔軟かつ迅速に対応し、本事業が当社の成長を牽引し当社の大きな柱となるよう積極的に取り組んでまいります。

※1 R-LDI : Roll to Roll type Laser Direct Imager（直接描画）

※2 CASE : Connected（コネクテッド） Autonomous（自動運転）  
Shared（シェアリング） Electric（電動化）

## 2. 新製品の主なスペック

「製品名：ロール to ロール型シームレスレーザー直描露光機 (RD3000)」

1. レーザー光源	波長 405nm の半導体レーザー
2. 最小L/S	200 $\mu$ m / 200 $\mu$ m
3. 露光速度	20mm / 秒
4. 最大露光幅	250mm
5. 最大露光長	6,000mm (6,000mm 以上は要相談)
6. 露光面	片面露光
7. 個別ID露光	有 (データマトリックス、英数 24 文字)
8. 対応データ	ガーバーデータ
9. 装置寸法	W=2,370mm H=1,950mm D=1,300mm

## 3. 今後の見通しと影響

本件が当社の2020年4月期の連結業績に与える影響は軽微であります。  
今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上